

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和6年度第2回朝霞第五中学校学校運営協議会		
開催日時	令和6年7月17日（水） 午後2時から午後3時まで		
開催場所	朝霞市立朝霞第五中学校 学校図書館		
出席者及び欠席者の職・氏名	委員9人（鈴木会長、要害副会長、片村委員、児玉委員、渋谷委員、森泉委員、金子委員、松本委員、鈴木校長） 事務局2人（相澤教頭、石井主幹教諭） 生徒指導主任 佐藤教諭 欠席 なし		
議題	○生活のきまりの見直しについて ○部活動のきまりの見直しについて ○今後の学校教育活動について		
会議資料	別紙参照		
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録		
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録		
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録		
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）		
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月	
	会議録の確認方法 による確認		
傍聴者の数	傍聴者0人		
その他の必要事項	特になし		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

○本校の教育活動における諸課題について

- 1、生活のきまりの見直しについて、生徒指導主任 佐藤教諭より説明（別紙資料参照）
- ・（要害副委員長）制服に関して、5月から暑い日も多くなっているので、臨機応変に対応できる期間が長くなるのはよい。髪型について、お団子が上の方に来るのはお祭りの時というイメージがあるので、下の方で、というのは良い。腕時計も必要に応じて構わないと思う。
 - ・（片村委員）制服は柔軟に対応する方がよい。髪型について、図で示しているのがわかりやすくよい。髪色について、小学生は、5、6年生を中心に染色している子が多いと感じている。
 - ・（松本委員）朝霞第三小学校において、金色、銀色等、インナーカラーも含めて染色している児童が増加しているように感じる。腕時計については、必要に応じてよいと思うが、紛失対応等の課題が懸念される。
 - ・（児玉委員）見直しについて、生徒・保護者・運営協議会で意見を吸い上げて取り上げるやり方が素晴らしい。一昔前は校則を厳しく摘要しなければ生徒指導上難しかったが、見直しを進められるのは第五中学校が落ち着いているからこそと思う。髪型については今や中学校生活3年間のみ制限がかかる時代になってきたが、TPOに応じて変える必要があることを学ぶ意味でも、貴重な3年間だと思われる。時計については高価なものは持ってこないという話だったが、アップルウォッチなど様々なものがあるため、「高価」という基準・判断についても生徒・保護者とすり合わせる必要があると思う。
 - ・（渋谷委員）制服の夏服着用期間を1～2週間広げる理由について教えてください。（佐藤教諭より説明）髪型についても、理由を示していく必要があると思われる。時計については、自己責任で管理という話だが、紛失した場合学校の対応も必要になる懸念がある。
 - ・（金子委員）髪型については概ね良いと思う。時計については、今は安価なスマートウォッチもあって対応が難しい。子供たちがなぜ必要なのか考え、自主的に動くために活用されるなら良いと思う。
 - ・（松本委員）髪型については、型をパターン化したり、先生方に判断を求めるのではなく、理由に応じて、子供たちが自分で考え、みんなが過ごしやすくするためにどうしたらよいのかという視点で進めていく必要がある。
 - ・（鈴木校長）見直しは、生徒指導提要・文部科学省の通知をもとに、生徒からの意見を重視して進めている。生徒自身が関わりながら進めることが重要と考えている。
 - ・（鈴木委員）生徒たちの意見を聞いて進めていて、押し付けられているわけではない点が良い。その理由を子供たちが考えられる機会をこれからも大切にしてほしい。

○部活動のきまりの見直しについて

- 2、部活動の決まりの見直しについて、石井主幹教諭より説明（別紙資料参照）
- ・（鈴木校長）現在の5中の部活動入部人数や活動状況、生徒数・教職員数の増減などについて説明。
 - ・（要害委員）働き方改革や生徒数の減少、部活動の加入状況など聞いて驚いている。部活で得られるものは大きいので、できる範囲、時代に合った範囲で行うしかないのでは。小学校にも説明会等で事前に周知が必要だと思う。体育祭では少ないからこそその団結を感じた。小さいながらも良い学校である伝統はこれからも生かしてもらいたいと思う。
 - ・（片村委員）見直しは人数が集まらない限り、やむを得ないと考える。今の時代に合ったやり方を考え地区必要がある。
 - ・（児玉委員）部活動が抱える課題は、中学校では大きいものがある。やりたい先生、生徒もいる反面、負担に感じる人もいる。サッカー等、社会体育に受け皿があるものはいいが、ないものは学校で受ける役割もあるのではと思う。外部団体、組織を利用しながら、皆で知恵を絞って考えていく必要がある。
 - ・（渋谷委員）部活動加入人数が減っているのは子供の総数が減っているからなのか、興味がないのか、子供たちの心理状況を知りたい。また、廃部規定はあるが、総部規定はあるのか。
 - ・（校長より説明）
 - ・（森泉委員）自分がかかわっている千葉の自治体では、学校での部活動は全て廃止してすべて外部委託となっている。県として地域移行をどう進めていくのか、方向性を定めていく必要がある。
 - ・（金子委員）五中の少人数の良さは、体育祭で感じられた。部活動でも、コミュニケーション、生

徒と先生の関係性など、少人数の強みをアピールしていけばいいのでは。高校でも部活動をやりた
いと思える取り組みをお願いしたい。

・(松本委員) 五中の部活動の立ち位置は難しい。他の4校は生徒数も多く、さらに増えつつある。
五中だけは年々減り、教職員数も減っている中で、外部指導者を活用したくても受け皿がなかなか
ない状況である。市としても合同の部活動を検討するなどしているが、費用の問題などもあり、受
益者負担といっても保護者に負担がかかり、難しい課題が多い。いずれにしろ、変更の際は、三小
でも現状を通知していく必要があるので有機的に五中と三小が連携できるとよい。

・(鈴木委員) 自分の小学生の息子がサッカーをしているが、地域のクラブチームのセレクションを
まず受け、うまくいかなかったら部活と考えている。部活動は生徒にとって大きく成長する場所な
ので親とすれば入ってほしいが、現状サッカーなどを頑張りたい生徒は同じような選択になる場合
が多い。

・(校長) 加入数が減っているのは、クラブチームでの活動増や、不登校生徒の増加なども要因とし
てある。また、高校の入試制度が変わり、部活動は全く調査書から記載がなくなることも要因にあ
るかもしれない。

・(要害委員) 今回の議題とは少しずれるが、体育祭はどの競技も楽しい内容で、生徒の頑張りを皆
で応援する素晴らしいものだった。少人数の学校だからこそできる学校づくりを今後も進めてほし
い。